（別添）

別紙１

公的医療機関等の場合

○○病院

公的医療機関等2025プラン

または

公立・公的医療機関等以外の場合

2025プラン

（参考資料）

令和　年　○月　策定

【○○病院の基本情報】

医療機関名：

開設主体：

所在地：

許可病床数：

（病床の種別）　一般病床　○床，療養病床　○床

（病床機能別）　高度急性期　○床，急性期　○床，回復期　○床，慢性期　○床

稼働病床数：

（病床の種別）　一般病床　○床，療養病床　○床

（病床機能別）　高度急性期　○床，急性期　○床，回復期　○床，慢性期　○床

診療科目：

職員数：

　・　医師　　　　　常勤　○人，非常勤　○.○人

　・　看護師　　　　常勤　○人，非常勤　○.○人

　・　准看護師　　　常勤　○人，非常勤　○.○人

　・　助産師　　　　常勤　○人，非常勤　○.○人

　・　理学療法士　　常勤　○人，非常勤　○.○人

　・　作業療法士　　常勤　○人，非常勤　○.○人

＜その他，薬剤師，言語療法士など，必要に応じて追記してください。＞

　・　事務職員　　　常勤　○人，非常勤　○.○人

【１．現状と課題】

1. 構想区域の現状

○　2025年に向けて，それぞれの患者が，状態に応じて必要な医療を適切な場所で受けることのできる医療提供体制の構築に向けて，各医療機関が，地域における自らの立ち位置を把握するためには，地域ごとの実情を把握することが必要。

○　各地域で策定した地域医療構想等を参考に，構想区域の現状について記載。

都道府県が策定した地域医療構想を参考に記載すること。

（記載事項例）

・　地域の人口及び高齢化の推移

・　地域の医療需要の推移

・　４機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとの医療提供体制の特徴

・　地域の医療需給の特徴（４機能ごと／疾患ごとの地域内での完結率，等）

等

適宜，図表を使用

（地域医療構想，医療計画等を参考とすること）

1. 構想区域の課題

○　各医療機関が，地域において今後担うべき役割を検討するに当たり，その前提として，地域ごとの課題を把握することが必要。

○　構想区域における課題について，①の記載事項を踏まえて整理し，記載。

都道府県が策定した地域医療構想を参考に記載すること。

（具体例）

・　人口減少に伴い，地域の医療需要も減少傾向にある

・　急性期医療の提供体制について，複数の医療機関で一部機能が重複している

・　急性期医療を受けた後の患者の受け皿となる医療機関が不足（いわゆる出口問題が深刻）

等

適宜，図表を使用

（地域医療構想，医療計画等を参考とすること）

③　自施設の現状

○　医療提供体制の構築に向けて，各医療機関が，地域における自らの立ち位置を把握するため，地域の実情に加え，自施設の現状を把握することが必要。

○　自施設の現状として，地域において現在果たしている役割等について記載。

（記載事項例）　**可能な範囲で記載してください。**

・　自施設の理念，基本方針等

・　自施設の診療実績（〇年度実績）

病棟毎（届出入院基本料，平均在院日数※1，病床稼働率※2），

施設毎（休日に受診した患者延べ数，夜間・時間外に受診した患者延べ数，救急車の受入件数）等）

　　　　※1　平均在院日数＝在棟患者延べ数(年間)/（（新規入棟患者数(年間)+退棟患者数(年間)）/2）

　　　　※2　稼働率＝在棟患者延べ数(年間)/（稼働病床数\*365（稼働日数））

・　自施設の特徴（４機能のうち○○が中心，等）

・　自施設の担う政策医療（５疾病・５事業及び在宅医療に関する事項）

（具体例）　**可能な範囲で記載してください。**

　○　救急医療

夜間休日搬送受入件数　年間　〇件

時間外等加算割合（休日・夜間・深夜加算算定件数（初診）/初診料算定件数）　％　など

○　災害医療

ＤＭＡＴ，ＤＰＡＴを保有し，○○年●●豪雨災害に派遣した。

○　へき地医療

　　へき地診療所への医師の延べ派遣日数　年間○日。

へき地における巡回診療の延べ診療日数　年間○日

へき地医療拠点病院への医師の延べ派遣日数　年間○日，など。

○　周産期医療

　　ハイリスク分娩管理加算　年間〇件，分娩件数　年間　〇件，

母体搬送受入件数　年間〇件，など。

○　小児救急医療

　　　乳幼児休日・夜間・深夜加算算定件数（初診）　年間〇件，

乳幼児加算初診料算定件数　年間〇件，など

・　自施設の担う新興感染症等対応

　　（具体例）重症患者受入れ，急性期を脱した患者受入れ，〇〇へ医師派遣，など。

・　他機関との連携（周産期医療については他の医療機関との連携を前提に対応，等）

等

適宜，図表を使用

④　自施設の課題

○　各医療機関が，地域において今後担うべき役割を検討するに当たり，地域ごとの課題を踏まえ，自施設の持つ課題を整理することが必要。

○　自施設の課題について，①～③の記載事項を踏まえて整理し，記載。

（具体例）

・　地域の医療需要の減少が見込まれること，近隣の○○病院との機能の一部重複があることから，現状の体制を維持するべきか否か，検討が必要

・　地域で不足している，急性期医療を受けた後の患者の受け皿となる医療機関の整備に向けて，当院の役割の再検討が必要

等

適宜，図表を使用

【２．今後の方針】　※　１．①～④を踏まえた，具体的な方針について記載

①　地域において今後担うべき役割

（具体例）

・　2次救急を担い，3次救急は○○病院へ，急性期を脱した患者については○○病院との連携を行う。

・　○○病院のみでは対応しきれない，脳卒中及び心血管疾患への対応を中心とした急性期医療の提供体制は維持していく

・　地域における回復期機能の一翼を担う

等

②　今後持つべき病床機能

（具体例）

・　現在の急性期病棟は一定程度維持する必要があるが，規模の適正化を検討する

・　回復期機能を提供する病棟の整備について検討する

等

③　新興感染症等対応について

（具体例）

・　重症患者受入れに対応する。急性期を脱した患者受入れに対応する。○○の理由で現状では受け入れない。透析患者，妊婦患者の受入れを行う。医師，看護師を他院に派遣する。

　　等

④　働き方改革への対応について

（具体例）

・　現行ではＡ水準になる。連携Ｂ水準に指定する予定。Ｂ水準に指定する予定。

・　Ａ水準のままでも現行の医療提供体制を確保できる。

・　働き方改革が始まると，（○人）医師の確保ができず，現行の医療提供体制を確保できないため，夜間（土日，祝日）の体制を見直す必要がある，

　等

⑤　建物の建替え，改修，高額医療機器の購入について

（具体例）

・　令和○年に建替え（改修）予定。（基本設計，実施設計，工事着工，竣工，開院の予定時期）

・　令和○年にＭＲＩを購入予定（共同利用の有無）。

　　等

⑥　その他見直すべき点

（具体例）

・　医療機関全体として，病床利用率が低下傾向であり，今後の医療需要の推移を加味して，最適な病床規模について検討する

等

【３．具体的な計画】　※　２．①～⑥を踏まえた具体的な計画について記載

①　４機能ごとの病床のあり方について

直近の病床機能報告を記載してください。

　＜今後の方針＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 現在  （令和○年度病床機能報告） |  | 将来  （2025年度） |
| 高度急性期 |  |  |  |
| 急性期 |  |  |  |
| 回復期 |  | → |  |
| 慢性期 |  |  |  |
| （合計） |  |  |  |

　＜（病棟機能の変更がある場合）具体的な方針及び整備計画＞

　　（記載事項例）

　　・　病棟機能の変更理由

　　・　病棟の改修・新築の要否

　　・　病棟の改修・新築の具体的計画

　　（具体例）

　　・　地域に不足する回復期機能を提供するため，７階Ａ病棟を急性期から回復期に変更

　　・　病棟機能の変更に伴い，リハビリテーション室を１室作成（２病室を廃止）

　　・　リハビリテーション室の増築に伴い，病床数を減少（40床→30床）

　＜年次スケジュール（記載イメージ）＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 取組内容 | 到達目標 | （参考）  関連施策等 |
| 2022年度 | ○自施設における合意形成に向けた協議 | ○自施設の今後の病床のあり方を決定（本プラン策定）  ２年間でプラン（対応方針）の策定や見直し | 保健医療計画見直し |
| 2023年度 | ○地域医療構想調整会議における合意形成に向け検討 | ○地域医療構想調整会議において自施設のプランに関する合意を得る |  |
| 2024年度 | ○具体的な病床整備計画を策定  ○施工業者の選定・発注 | ○2024年度中に整備計画策定  ○2024年度中に着工  　（・現病棟の担う機能は一時 　　　的に他の病棟で補う）  第8次保健医療計画 | 医師の働き方改革 |
| 2025年度 |  | ○2025年度末までに  　・新病棟稼働  　（・旧病棟廃止） |  |

②　診療科の見直しについて

検討の上，見直さない場合には，記載は不要とする。

　＜今後の方針＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 現在  （本プラン策定時点） |  | 将来  （2025年度） |
| 維持 |  | → |  |
| 新設 |  | → |  |
| 廃止 |  | → |  |
| 変更・統合 |  | → |  |

　＜（診療科の見直しがある場合）具体的な方針及び計画＞

　　（記載事項例）

　　・　診療科の新設・廃止・変更・統合等の理由

　　・　（新設等の場合）具体的な人員確保の方策

　　・　（廃止等の場合）廃止される機能を補う方策

　　（具体例）

　　・　近隣の○○病院との機能の重複があるため，△△科を廃止

　　・　地域における△△科の患者については，協議の上，○○病院で対応していただく方針

　　・　構想区域内に提供施設がないため，□□科を新設

　　・　□□科については，隣接する構想区域の▽▽病院と提携し，人員を確保

1. その他の数値目標について

医療提供に関する項目

・　病床稼働率

・　手術室稼働率

・　紹介率

・　逆紹介率

経営に関する項目＊

・　人件費率

・　医業収益に占める人材育成にかける費用（職員研修費等）の割合

　その他

＊地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には，記載を必須とする。

【４．その他】

（自由記載）